

美術研究科デザイン専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

大学院美術研究科修士課程デザイン専攻では、デザイン分野における、より高度な専門性と独創性をもつ研究や作品制作を行う人材を養成するため、指導教員及び関連指導教員のもと、所属する研究室をこえてデザイン知識と社会実践を学び経験できることができるカリキュラム編成となっている。指導教員は自身が所属する研究領域における研究実践や演習に基づき、社会課題とデザイン分野の未来を考察・提示し、実習・レクチャー・ディスカッション・ワークショップなどを通じて、個々の研究および相互の知的交流の活性化を図る。学生は自らの研究テーマと研究室の専門性をベースに自身の研究、制作、発表を行う。また研究内容に応じて他の研究室と共同での研究活動を認める。2年間を通して各自の研究、制作を主として、様々な社会連携プロジェクトや他専攻の研究室との共同制作にも主体的に参加することで、自分の専門を基盤に多様な領域をつなぐ幅広い視野を養う。さらには、国際的なコミュニケーション力の養成のために本学の交換留学プログラムを積極的に利用するように指導する。

求める入学者像

デザイン分野におけるより高度な専門性かつ独創性をもつ制作や研究等を達成し、社会においてその成果を還元し活躍できる人材を求める。考える力、つくる力(観察する力・伝える力を含む)、全体を俯瞰し構造を読み取る力を高いレベルで有し、独自の視点で自らの研究目標を具現化できる能力を必要とする。社会に展開できる成果で世界を揺り動かそうとする強い意志をもつ学生の入学を期待する。

卒業認定・学位授与の方針

研究領域毎に定められた教育課程表に記載された所定の単位を修得し、最終年次に行われる「修了制作」の評価において修士の学位を授与する。修了制作の評価は、担当教員を中心に専任教員全員で修了制作の審査・採点を行い、評価を決定する。

カリキュラム構成

【1年次】

研究計画に関連したデザイン研究(個人の研究制作活動)や作品制作・発表を行う。
デザイン特論(所属研究室のゼミ)を通して社会との接点や多様な価値創造の視点を育む。
研究領域に即した基礎的素養を身につける。

【2年次】

デザイン研究とデザイン特論を継続して、社会価値創造の実例を創出する。
独自の視点で行う研究を深め、自身の研究内容を「修了制作」としてまとめ、発表する。

教育目標

- ① デザイン分野における高度な知識の習得
- ② デザイン分野における高度な技術の習得
- ③ デザイン分野における高度な創造性の習得
- ④ デザイン分野における新規性のある研究や作品制作
- ⑤ デザイン分野における研究成果の発表

| 年次 | 科目 | 教育目標 | |
|--------|------|-------------|------|
| 1 年次 | 必修科目 | デザイン研究 I | ②③④ |
| | | デザイン研究 II | ②③④⑤ |
| | | デザイン特論 I | ① ③ |
| | | デザイン特論 II | ① ③ |
| 2 年次 | | デザイン研究 III | ②③④ |
| | | デザイン研究 IV | ②③④⑤ |
| 1～2 年次 | 選択科目 | アートディレクション | ① |
| | | アート & デザイン | ① |
| | | プレイスデザイン | ① |
| | | プロダクトプランニング | ① |